

## 観光社会資本の事例

テーマ	水と緑豊かな下水道施設 舞洲スラッジセンター
【施設の状況写真】	
	
上空写真	夜間のライトアップ
<p>大阪臨海部の人工島・舞洲に建設した下水汚泥集中処理場「舞洲スラッジセンター」。その外観は、環境保護芸術家として世界的に著名な故フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏(オーストリア)によるデザインで、外壁や屋上に木々を取り入れ自然との調和を図り、全体として「技術とエコロジーと芸術の調和」をあらわしています。</p>	
【施設の利用写真】	
	
場内の遊歩道と雨水を利用したせせらぎ。水と緑豊かに整備し、一般開放しています。	施設見学で訪れ、建物のスケッチをする小学生。
【観光資源としての利用状況】	
<p>建物の外観はたいへんユニークであり、同じデザイナーにより設計されたごみ焼却場「舞洲工場」とともに、舞洲のランドマークとなっています。</p>	
<p>舞洲スラッジセンターでは、訪れた誰もが自由に利用できるように場内の一部開放を行い、遊歩道、せせらぎ、東屋、ベンチ等を配置しています。また、建物のエントランスホールには、下水道の役割や処理のしくみの理解を深める展示を行い、昼間は自由に利用いただけます。</p>	
<p>平成 16 年 3 月の施設供用開始から1年ほど経過したところですが、施設見学者は既に延べ 5,000 人に達しています。(平成 17 年 5 月時点)</p>	

テーマ	水と緑豊かな下水道施設 舞洲スラッジセンター
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 舞洲スラッジセンター</p> <p>所在地 大阪市此花区北港白津 2-1-1</p> <p>事業名 下水道事業</p> <p>事業主体 大阪市</p> <p>事業期間 第1期事業:平成9年度～平成15年度 全体完成:平成21年度(予定)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>下水汚泥の集中処理と送泥ネットワークの整備</p> <p>舞洲スラッジセンターは、市内に12ある下水処理場のうち臨海部の8つの下水処理場の下水汚泥を集中処理する施設です。従来トラックで運搬していた下水汚泥を、地中に埋設するパイプ(汚泥圧送管)で舞洲に輸送します。</p> <p>観光資源としての効果</p> <p>処理場について、必要な機能だけ考えるのではなく、その外観を自然との調和を図るデザインで工夫することにより、建物のスケッチ等を目的として多くの施設見学者が訪れています。また、下水道の役割やしぐみに関する展示を行うことにより、下水道に関する理解も深めてもらうことができます。</p>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="181 1252 676 1848" style="text-align: center;">  <p>大阪府</p> <p>大阪市</p> <p>舞洲スラッジセンター</p> </div> <div data-bbox="699 1256 1430 1776" style="text-align: center;"> <p>(拡大図)</p>  <p>舞洲スラッジセンター</p> <p>淀川</p> <p>安治川</p> <p>北港</p> <p>大阪港</p> <p>地下鉄中津線</p> </div> </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>下水道関係: <a href="http://www.city.osaka.jp/toshikankyo">http://www.city.osaka.jp/toshikankyo</a></p>	